

滋賀県文化振興基本方針(第2期)

評価指標・評価手法

課題

- ・設定した指標が、目指している施策の目的を反映していない。
- ・状況の変化で、指標が本来の目的を果たさなくなっている。
- ・政策の効果で、その指標が変化したのかが判断できない。
- ・定量評価では、数値を右肩上がりに増加させるには限界がある。
- ・指標から、今後の見通しや改善点が導きにくい。

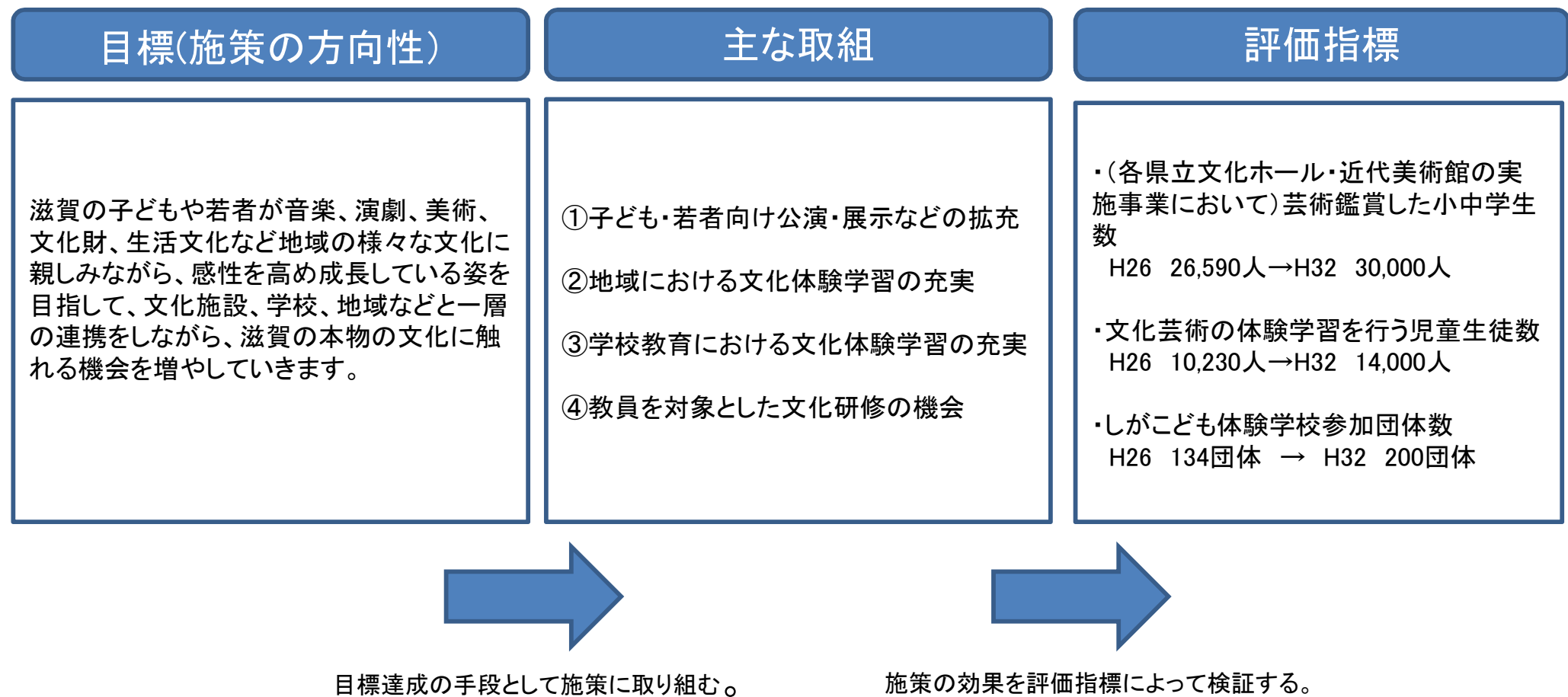
対応

- ・政策がきちんと目的を達成したかを把握できるような指標を設定する。
- ・長期的に使えて、安定性のある指標を設定する。指標に疑義が生じたら弾力的に指標を変更する。
- ・目指すべき政策目的を直接反映するような指標を設定する。
- ・定量評価だけでなく、定性評価と組み合わせる。
- ・成果指標(アウトカム)や準指標を設定する。

柱2 未来の文化の担い手の育成

重点施策3 子ども・若者が本物の文化に触れる機会の充実

現行の評価指標



柱2 未来の文化の担い手の育成

重点施策3 子ども・若者が本物の文化に触れる機会の充実

成果と成果指標（アウトプットとアウトカム）

目標(施策の方向性)	主な取組	直接の結果	事業の成果 短期・個人・意識	事業の成果 中期・周囲の人々・状況	事業の成果 長期・地域・結果	成果指標
滋賀の子どもや若者が音楽、演劇、美術、文化財、生活文化など地域の様々な文化に親しみながら、感性を高め成長している姿を目指して、文化施設、学校、地域など一層の連携をしながら、滋賀の本物の文化に触れる機会を増やしていきます。	<p>①子ども・若者向け公演・展示などの拡充</p> <ul style="list-style-type: none">・県立文化ホールにおける青少年向け舞台芸術公演などの開催・県立美術館・博物館における青少年向け文化・芸術体験プログラムの提供 等 <p>②地域における文化体験学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・子供向け体験プログラムの充実・地域活動における文化体験プログラムの提供 等 <p>③学校教育における文化体験学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・県内すべての小学生などを対象とした本物の舞台芸術に触れる機会の提供 <p>④教員を対象とした文化研修の機会</p>	<ul style="list-style-type: none">・(各県立文化ホール・近代美術館の実施事業において)芸術鑑賞した小中学生数・文化芸術の体験学習を行う児童生徒数・しがこども体験学校参加団体数	<ul style="list-style-type: none">・文化芸術に関心を持つ子どもの増加・地域文化に興味を持つ子どもの増加	<ul style="list-style-type: none">・豊かな感性をもった子どもが育つ・地域に誇りや愛着を感じる。・未来の文化の担い手、地域の文化活動を支える人材が育つ。	<ul style="list-style-type: none">・滋賀の魅力ある文化が人々の豊かな感性や創造力を通じて育まれ、未来へ継承される。	